

本庁舎に必要な機能や使いやすい庁舎の検討

越谷市役所庁舎のコンセプト（役割）のたたき台を以下のように提案します。

○庁舎に求められる役割

□すべての市民に開かれた庁舎（ソフト面）

- ・高齢者、障がい者、老若男女問わず容易に利用できるユニバーサルデザインを取り入れた庁舎
- ・誰もが気軽に立ち寄れる、憩える空間を備えた庁舎
- ・市民活動の場となる庁舎

□機能性・効率性の高い庁舎（ハード面）

- ・事務効率の高い機能的な庁舎
- ・市民ニーズの変化に柔軟に対応できる庁舎
- ・高度情報化した社会に対応できる庁舎

□市民に親しまれ、まちづくりの拠点となる庁舎（ソフト面）

- ・市民活動に活用される、文化を感じる庁舎
- ・まちづくりや地域の活性化に貢献する庁舎
- ・周辺環境と調和した庁舎

□防災拠点機能を備えた庁舎（ハード面）

- ・災害時に指令機能を果たす庁舎
- ・防災情報ネットワーク機能が充実した庁舎

□越谷市に住むことが楽しく感じられ、愛着の持てる庁舎（ソフト面）

- ・来庁することで新たな越谷を知ることのできる庁舎
- ・整理整頓され、職員の楽しく働く姿がみられる庁舎
- ・明るい未来をリードする越谷を感じられる庁舎

□環境にやさしい庁舎（ハード面）

- ・環境に配慮した庁舎
- ・再生可能エネルギーを採用した庁舎
- ・自然光や緑を取り入れた、人にも環境にもやさしい庁舎

[キャッチフレーズ]

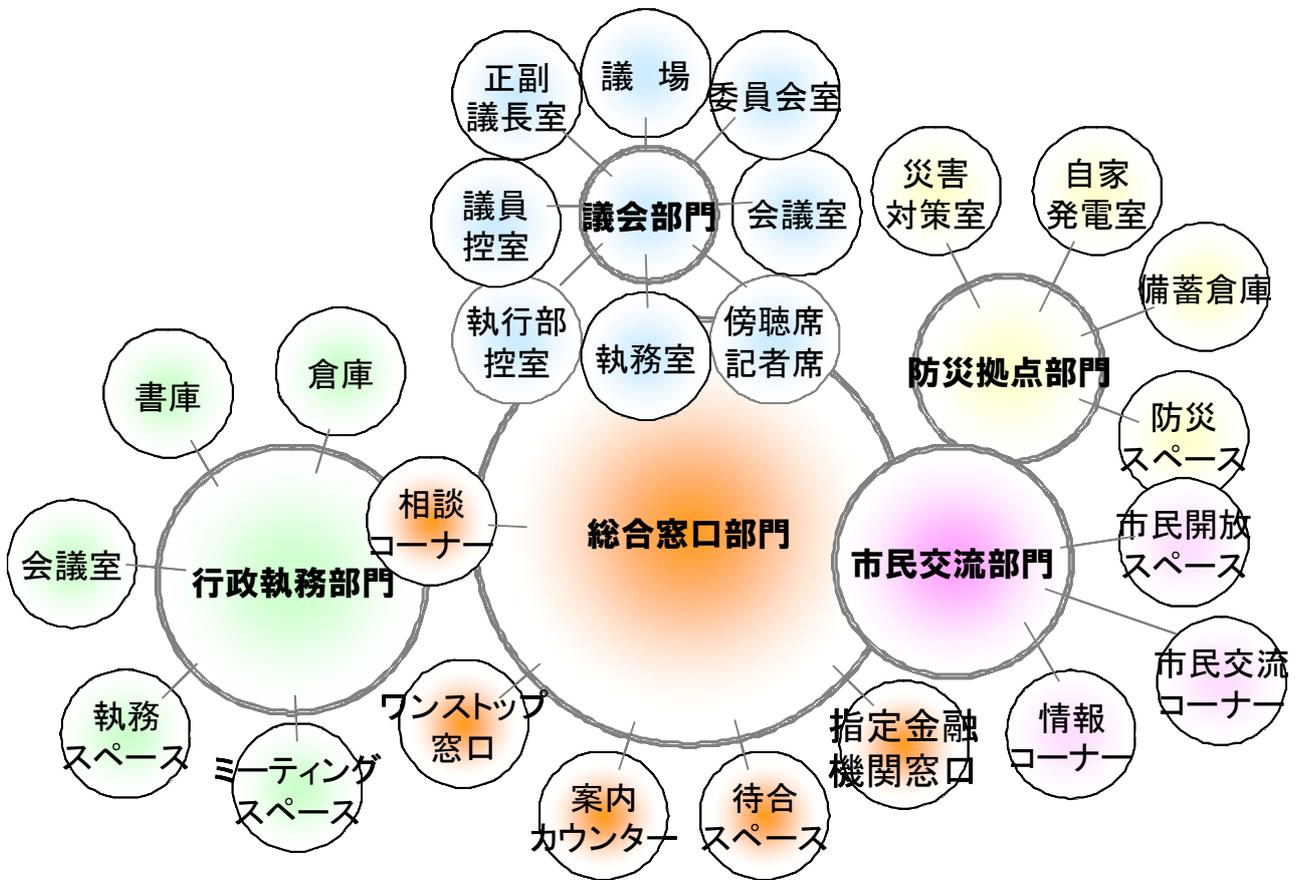
(例)

越谷市民の安全・安心な暮らしを支える 親しみのある庁舎

○庁舎の機能

上記のコンセプトを実現するため庁舎はさまざま部門から成り立っています。いくつかの分類方法がありますが、空間構成につなげるために一般的には以下のような分類があります。

- ①総合窓口部門
- ②行政執務部門
- ③議会部門
- ④防災拠点部門
- ⑤市民交流部門



<参考> 他市事例における新庁舎建設基本構想

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
<p>東京都立川市 完成年次：平成 22 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市民自治の拠点機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民と行政の協働を支え、市民の自治活動を推進する機能 ② 総合情報機能 ③ 市民交流・情報発信を支える機能 (2) 便利でわかりやすい市民サービス機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 案内機能 ② 窓口機能 ③ 相談機能 ④ 出先機関等とのネットワーク (3) 防災センターとしての機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 災害対策本部機能 ② ライフライン・備蓄機能 ③ 避難誘導体制の整備 (4) 市民に親しみやすい議会機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 本会議・委員会 ② 傍聴・情報提供機能 ③ 調査研究機能 ④ 市民利用を想定した機能 (5) 効率的で職員が働きやすい行政機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 執務機能 ② 収納機能 ③ 会議・打合せ機能 ④ 福利厚生 (6) 適切な駐車・駐輪機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 駐車場 ② 駐輪場 (7) 適切な機能配置 <ul style="list-style-type: none"> ① 空間の有効利用 ② 市民利用や交流に配慮した機能配置 ③ セキュリティに配慮した機能配置 ④ 議会部門の配置 ⑤ 駐車場・駐輪場の配置

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
<p>東京都青梅市 完成年次：平成 22 年</p>	<p>(1) 分かりやすく利用しやすい機能や安全性に配慮するとともに、市民の触れ合いの場として親しまれる庁舎とする。 (2) 高齢者・障がい者はもとより、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインが図られた庁舎とする。 (3) 議会の独立性を保ち、行政部門との連携を図ることができる庁舎とする。 (4) 地震等災害時の防災拠点としての機能を有する庁舎とする。 (5) 環境配慮型官庁施設（グリーン庁舎）を考慮し、省エネルギー時代に即応した経済的で維持管理のしやすい庁舎とする。 (6) 高度情報化など今後の行政需要の変化に対応可能な庁舎とする。</p>
<p>東京都町田市 完成年次：平成 24 年</p>	<p>(1) 21 世紀の社会と環境に求められる機能とデザインを実現した庁舎 ① ユニバーサルデザインを実現 ② 環境の持続性と健康に配慮した庁舎 ③ 災害等への安全・安心を確保した庁舎 ④ 高度情報化社会に対応できる庁舎 ⑤ 美しい街並みの実現に貢献 (2) 便利で使いやすく気軽に立ち寄れる庁舎 ① 本庁舎と市民センターとの適切な役割分担と連携 ② 市民との協働スペースを確保 ③ 市民に便利なワンストップサービスを導入 ④ 開庁時間に柔軟に対応できる庁舎 ⑤ 情報提供サービス機能を充実 (3) 諸機能が適切に配置され将来の変化に柔軟に対応できる庁舎 ① 庁舎の諸機能の適切な配置 ② 将来の使い方の変化に柔軟に対応できる庁舎 ③ 合理的な維持管理や改修が行える庁舎 ④ 長寿命を実現できる庁舎 (4) 市民に親しまれる庁舎 ① 街並みをリードする庁舎を実現 ② 安全で快適に来庁できるアクセス路を整備 ③ 総合的な検討をふまえて駐車場・駐輪場を整備 ④ 中町地域、森野地域のまちづくりのあり方を検討 (5) 市民の納得度と満足度の高い庁舎を実現 ① 建設費用、維持管理費用を削減 ② 費用の節減とより良い施設を実現できる発注方法を採用 ③ 公正で納得の得られる設計者、施工者を選定 (6) 新庁舎建設までの準備期間を活用</p>
<p>茨城県つくば市 完成年次：平成 22 年</p>	<p>(1) 環境にやさしく安全な庁舎 ① 省エネルギー、省資源、持続可能性の工場 ② 地域防災拠点 ③ 安全性能の確保 (2) 人にやさしく親しまれる庁舎 ① ユニバーサルデザイン ② 市民の集う場 ③ 効率的で働きやすい執務の場 (3) つくばらしさを発信する庁舎 ① 科学技術都市にふさわしい庁舎 ② 国際都市にふさわしい庁舎 ③ 田園都市にふさわしい庁舎</p>

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
<p>神奈川県平塚市 完成年次:平成 24 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1)全体に共通する機能 <ul style="list-style-type: none"> ① ユニバーサルデザイン ② 防災拠点 ③ 高度情報通信システム、フレキシブル ④ 地球環境に配慮した環境負荷の低減、自然エネルギーの積極的導入 (2)窓口機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 総合案内や窓口は市民が利用しやすい低層階に配置 ② ワンストップサービスの導入 ③ 待合スペースを確保、市民ニーズの充実 ④ 相談室はプライバシーに配慮したづくり (3)執務機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 時代の変化や機能の変化にフレキシブルに対応できるオープンフロアー ② 打合せコーナーを効率的に配置 ③ 用途に応じた適切な規模の会議室を配置、コピーや軽作業をおこなうワークスペース ④ 文書類の電子データ化、効率的な収納スペース ⑤ 職員の福利厚生や利便性に配慮した更衣室、休憩室等 (4)議会機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 市民に開かれた身近な議会 ② 傍聴席は市民ニーズや利用しやすさに配慮 ③ 議場や委員会室は市民利用などの多目的利用への対応 (5)防災機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 防災センター機能の導入 ② 地域防災計画との整合を図り、必要となる付帯的防災機能の導入 (6)市民機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 参加と協働によるまちづくりの拠点として、市民、行政、議会が共同で利用する情報共有スペース ② 市民活動を支える交流の場として、市民が気楽に立ち寄り意見交換や打合せができ、展示会などにも多目的に利用できる交流スペースの導入 ③ 同様な交流スペースとして、レストランや喫茶室の設置 ④ 正面玄関のロビーは市民がくつろげ、利用しやすい空間であるとともに、平塚市をアピールする空間 ⑤ 屋外の広場スペース等は交流イベントなどの利用が可能なづくり (7)施設管理機能 <ul style="list-style-type: none"> ① 個人情報や行政情報を適切に管理するとともに、休日や夜間などの庁舎管理に対応したセキュリティー機能の充実 ② 照明や空調・換気設備は省エネに配慮し、適切な区分の個別使用に対応したシステムの導入 ③ 上記のセキュリティー管理や設備管理等は中央監視方式などによる省力化
<p>千葉県浦安市 完成年次:平成 27 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1)市民のニーズに応える便利でわかりやすい庁舎機能（案内／窓口／相談） (2)災害に備える防災拠点機能（災害対策本部機能／高水準の耐震性能） (3)市民協働のまちづくりの拠点機能（交流・相談・情報交換の場／情報センター機能／市民の交流空間やイベント空間） (4)市民に開かれた議会施設（活発な議会活動のできる施設、傍聴施設／市民交流のできる議場） (5)効率的で働きやすい行政機能（執務機能／会議・打ち合わせ機能／福利厚生施設／セキュリティー機能） (6)利用者の需要に対応した駐車場及び駐輪場（駐車場／駐輪場）

新庁舎整備事例	基本構想での導入機能
<p>東京都福生市 完成年次：平成 20 年</p>	<p>(1) 防災機能 災害対策の拠点として高い耐震性能が必要であり、通常の5割増しの耐震強度を目標とし、免震工法についても検討します。災害対策本部の開設スペース、自家発電設備、無線設備、備蓄倉庫、災害対策活動の場としてのオープンスペース（防災広場）の確保</p> <p>(2) 市民サービス機能 総合窓口を開設してワンストップサービスができる環境とします。便利で親しみやすく、わかりやすい配置計画、サイン（案内板等）計画に努め、案内業務、市民相談業務、情報公開業務などの充実</p> <p>(3) 政策立案・議会機能 最高意思決定機関としての議会機能の独立性を確保し、関連する諸室を整備します。それとともに、市民の市政参加のため、傍聴機能の強化、身近で親しみやすい配置計画、空間計画</p> <p>(4) 行政執務機能 情報化に対応した設備環境とし、機能的で効率的な執務空間とします。変化する組織、機能に柔軟に対応できる構造とするとともに、日常的にも横断的な事務執行や季節により変化する事務に対応できる空間を整備</p> <p>(5) 駐車場 地下式、立体化などを検討し、来庁者用として 100 台、公用車用として 50 台程度の確保</p> <p>(6) その他 会議室は多目的に使用できるよう計画、もくせい会館との連絡通路の確保、受動喫煙を防止するための喫煙室は完全分離して設置。</p>
<p>福島県福島市 完成年次：平成 22 年</p>	<p>(1) 政策立案・議決機能群(議会関連・市民参加関連) 議会の独立性を確保するとともに、議会の意思決定にふさわしい議場や会議室等の整備を図る。議会関連の機能に加えて、市民の市政参加のための機能として、例えば市民委員会の開催の場や、議員と市民の交流ロビーなどを一体の機能群として位置づける。これらは、市民参加の誘導のしやすさや、市民に開かれた議会のあり方などを配慮して配置する。</p> <p>(2) 政策執行機能群(行政執務関連) 情報化時代における執務に即したスリムで効率的な配置とする。また、市民やNPO等との行政施策面の協働を想定して、開かれた執務環境を実現する。市町村間の広域連携や交流の場を適切に設ける。災害発生時には災害対策活動の拠点としての機能を果たすとともに、日常利用を念頭においた施設整備を図る。</p> <p>(3) 市民サービス・福利厚生機能群 市民生活、市民活動等を支える開かれた市役所づくりの一環として、窓口部門をはじめとした市民サービス機能などを親しみやすく、分かりやすく配置し、利便性の高い快適な施設とする。また、レストランなどの福利厚生機能を市民に開放する。これらの機能は、市民広場やシビックモールなどの市民を迎える外部空間に面して低層部分に配置し、賑わいのある街並みの形成を目指す。</p> <p>(4) 交通関連機能群 駐車場については、現状の市民の来庁実態に即して必要な機能を確保するが、例えば、パーク＆ライド*のための駐車場利用など休日における効率的な活用を目指す。駐車場出入口とあわせて、車寄せ、タクシー乗り場等を適切に配置する。バスについては、循環バスの活用やターミナル機能の導入等を検討する。市民の身近な足としての自転車利用を促進するため、自転車駐車を適切に配置する。</p> <p>(5) ユーティリティ関連機能群 新庁舎の機能や活動を支える施設・設備については、ユニバーサルデザインと省エネルギー・省資源化・長寿命化を重視した整備を行う。防災機能としては、災害対策活動の拠点の役割を果たすために、建物の安全性の確保(震度7程度で建物の一部損壊はあっても、災害対策活動に支障をきたさない強度)や、代替エネルギー源等による自立性の確保、災害活動に対応した規模のオープンスペース(市民広場等)の確保を図る。今後の発達が予想される情報化に関しては、その時点における最良の技術を効率的に活用する。</p>

